

令和2年度 【加東市】認知症地域支援推進員活動報告

【加東市】の認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員： 4名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

★認知症の相談支援

★認知症の早期発見・早期支援

★認知症の人、その家族の居場所づくり

●認知症カフェ・絆カフェの支援

●若年性認知症の当事者・家族の会の活動支援

★地域における支援体制の強化

●認知症サポーター養成講座

●認知症高齢者の見守り・SOSネットワークの構築

報告者氏名：藤本英子・高濱さおり・羽馬里恵・浅田玲子

【加東市】認知症施策全体図

認知症ケアネット
と相談支援体制

○認知症相談センター



認知症の早期発見
・早期支援

○物忘れ相談プログラム
○認知症初期集中支援事業

認知症の人とその
家族への支援

○認知症家族介護者のつどい
○物忘れ予防カフェ



地域における支援
体制の強化

○認知症サポーター養成講座
○ひとり外出見守り・SOSネットワーク



【加東市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告 テーマ番号< ⑥ >認知症の家族の視点を活かした取組

ひとり外出見守り・SOSネットワーク会議において、
対談形式で家族が体験談を関係者へ発信



関係者の反応（感想・意見）

- 実際、家族の人の話を聞くことができ、支える家族の大変さがわかった。
- 次の機会があれば、SOSネットワーク登録を考えている家族も参加できるとよいと思う。
- 日頃の付き合いは大切。SOSネットワークの登録を推進してほしい。
- “認知症＝困った人”と周囲は思いがちだが、誰でもなる病気だという認識を広め、住民の意識が高まれば、認知症になっても安心して地域で暮らせる。

最後に…

認知症に対する画一的で否定的なイメージを払拭する観点から、認知症の人や家族が自らの言葉でメッセージを語る姿を発信できる機会を作っていきたい。